

# Sain

健康な住まいと  
暮らしのサイン  
2022 Autumn

74

澄みきった秋空へ歩む



# 花鳥風月

自然の風物を愛でる楽しみ

秋から春にかけて見られる渡り鳥に、「ジョウビタキ」がいます。「ジョウ」は能の老翁ろうおうや炭火の白い灰などを意味する「尉じょう」のことで、銀髪のようなオスの頭の毛の色が由来。「ヒタキ」は「火焚」で、火打石の音に似た「カッ」という鳴き声が由来。「尉」と「火焚」で「ジョウビタキ」というわけですね。スズメよりやや小さく、「ヒッ」という澄んだ声でも鳴き、ぴよこんとおじきをして尾を震わせる姿がなんとも愛らしい鳥です。灰色がかかった褐色のメスとくらべ、オスの胸からお腹は鮮やかなオレンジ色で、紅葉した樹木に羽を休めると、コーディネートしたような美しい調和をみせてくれます。

しんじつ秋空の雲はあそぶ  
自由に詠んだ旅の俳人、種田山頭火の句。  
上を向いて、雲や鳥を愛でたい秋です。



# SAiN

2022 Autumn 74

サイン二〇二二年  
秋号をお届けいたします

慣れてしまったようで  
慣れてはいけない  
コロナ禍であり  
世界情勢ではありますが  
青く高い秋空のように  
心が晴れわたるような  
素敵なことがあると  
いいですね

サインの誌面でも  
暮らしを楽しむヒントが  
見つかりますように

## SAiN 74号 目次

09	05	03	01	11
施主 渋谷浩一郎様エッセイ 四季めぐる空気がうまい家	空気がうまい家 全国体感録 そこは家族のまほろば 自然の力と癒しが 心と体に満ちていく場所	「SAiN特集」 木と人の暮らし	はじめのSAiN	おもやの食卓 秋の旬食材 茄子
17	16	15	14	
こだわりプレゼント 編集ほのぼの後記	カイケンブランド 健康自然建材	住まいと健康のいい関係 「無添加」というだけでは 「健康住宅」と言えない？	SAiNエッセイ シームレスに繋がる世界	

## COVER STORY



「時を超える価値のある暮らし」というテーマでお届けしている『SAiN』。2022年秋号の表紙は、秋の旬食材「茄子」とアンティークの「プレート」と「キッチンバサミ」です。

プレートは、イギリスの陶器会社 T.G.GREEN社製で、水玉模様のブルードミノシリーズは、60年代で生産終了し、現在はヴィンテージ品のみ。水玉模様は全体に釉薬をかけたあとにくり抜かれ、ぼてっとした表情が愛らしい逸品です。

キッチンバサミは、ドイツのツツヅリング J.A.ヘンケルス社製。1980年代に人気を博したキッチンツールです。ギザギザの部分でクルミ割りもでき、日本とはまた違う文化を感じます。お気に入りのものを見つけて、暮らしを楽しむ秋にしたいですね。

『SAiN』のお申し込みなどはWEBサイトで。  
<https://www.e-kaiken.com/sain/>  
©KAIKEN CORPORATION



醤油、味噌、お酒などの発酵に欠かせない木樽は、昔からスギが使われてきました。日本酒の杉樽やウイスキーのオーク樽は、味と香りを良くするための決め手です。

## 木を用いる

約200万年前、人類が初めて用いた道具は石器でした。やがて石器は進化し、木を伐ったり削ったりできるようになって、木を用いた様々なものが生み出されていきました。歴史ある木造建築などを見ると、古代の人が木の特性をとてよく知っていたことが分かります。用途に合わせた木の選び方や使い方は、昔の人たちの知恵と工夫の結晶ですね。

## 木で遊ぶ

「あらゆる文化は遊びから生まれた」（歴史学者ヨハン・ホイジンガ）という言葉があります。独楽、けん玉、将棋、積み木……どれも簡素で奥が深い木の遊び道具は、人間の原始的な「遊び心」を思い起こさせてくれます。



将棋の駒はツゲやカエデ、けん玉はブナとサクラ、独楽はマテバシなどで作られます。

## LIFE WITH WOOD

### 木と人の暮らし

人間が誕生する遙か昔から、木は生きていました。私たちの暮らしは、木からたくさん恩恵を受けて地域ごとの文化を生み出し、今に続いています。今回の特集では、木と人の暮らしとのかかわりをあらためて考えてみたいと思います。



スギやヒノキ、イチイなどの薄い板を熱してから曲げてつくる「曲げわっぱ」(写真左)。曲げわっぱのお弁当や、木樽で仕込むぬか漬けや手作り味噌、木桶で作るすし飯など、木の器を使ったものは、いっそう美味しく感じられます。

ちなみに、「樽」にはフタがあり、水分が染み出しにくい、山の形のような曲線紋様がある「板目(いため)」の板が使われます。「桶」にはフタがなく、吸水性の高い、平行な紋様がある「柾目(まさめ)」の板が使われます。

## 木を敬う

神社の「御神木」のように、私たちは古来から巨木や古木などの木に畏敬の念をいだいてきました。木に対する信仰は世界中にあって、



福岡県古賀市の五所八幡宮の御神木(楠)。高さ40m、幹まわりは最大で10m、樹齢は推定1000年を超えています。

世界が一本の大樹で成り立っているという「世界樹」の神話や民話は、インド、北欧、シベリア、メソアメリカなどに伝わっています。お住まいの地域の神社やお寺にも、風格のある名木がありませんか？

## 木に託す

およそ一四〇〇年の歴史を持ち、現存する世界最古の木造建築物として名高い法隆寺をはじめ、出雲大社や伊勢神宮など、日本には数多くの歴史ある木造の神社仏閣があり、仏像があります。そんな神社の空間や仏像の前にたずむと、いにしへの宮大工や仏師たちが木に託した祈りの心が、時代を超えて伝わってくるようです。



ギターはバスウッド、アルダー、アッシュ、マホガニーなど様々。バイオリンは表板がスプルース(トウヒ)、裏板はメイプル。

## 木を奏でる

木は効率良く音(振動)を伝える性質と音を和らげる性質があるそうで、いろいろな楽器はもちろん、コンサートホールやオーディオのスピーカーにも木が使われます。人の心を潤す音楽にも、木は欠かせませんね。



東大寺大仏殿(国宝)。東西57m、南北50m、高さ48mの世界最大級の木造建築物。右は広目天立像。

## 木をいかす

木を使ったものづくりは、民芸品や郷土玩具など、地域の風土や生活の中で育まれてきました。その品々には、手仕事のぬくもりがあり、人の心の素朴な優しさが感じられます。木は、生きもの。古材を削ると、時を経た柔らかな木の香りが立つように、森から伐り出されて木材になっても、木の命は生きています。木を大切に、木と共に暮らすを楽しんでいただければと思います。



MAHOROBA MODEL HOUSE KITAKYUSHU FUKUOKA  
SINCE 2021



伸びやかに広がる屋根と2階の開口部が個性的かつ威風堂々とした印象の外観デザインの「まほろばモデルハウス」は、玄関から室内へ一歩足を踏み入れると、木の香りに満ちた心地いい空気につつまれる「まほろば」の空間です。踏み板、腰壁、柱、棚、それぞれで異なる趣きある木の表情が引き出された、見事な職人技も素敵です。

空気がうまい家 全国体感録

音響熟成木材 幻の漆喰・清活量を使用した家族にやさしい「空気がうまい家」。全国に広がるその魅力を紹介します。

福岡県「空気がうまい家 まほろばモデルハウス」

北九州市八幡東区の高台に生まれた空気がうまい家「まほろばモデルハウス」。「素晴らしい場所」「住みよい場所」を意味する「まほろば」というその名にふさわしい、素材の良さを高い技術で引き出した心と体が安らぎで満たされる住まいです。

LIVE IN MAHOROBA

そこは家族のまほろば  
自然の力と癒しが  
心と体に満ちていく場所



PURE AND CLEAN QUALITY



毎日温泉気分で楽しめる音響熟成木材のお風呂をはじめ、洗面室やトイレに至るまで、快適さと細やかなデザインが際立つ住まいです。



2階各居室も空間づくりのすみずみに、また家具や建具の一つひとつに職人さんの気が配られ、心くつろぐ居心地の良さが生み出されています（外観写真の上5点）。住まいのまわりの樹木と調和するファサード/外観正面デザイン。LDKと外をつなぐウッドデッキは、四季の自然のうつろいを楽しませてくれそうです（写真上）。家の裏側に配された内と外をつないで住まいに開放感をもたらしてくれる縁側は、深い庇と格子の仕切りが設けられていて、この住まいのこだわりをさりげなく象徴する魅力的な空間になっています（写真右）。



LIVE IN MAHOROBA  
受け継がれてきた職人技と  
自然の命が生きた素材の賜物



わが家は世のまほろば 自然の息吹香り 空気澄みわたる わが家麗し

「倭（やまと）は 国の真秀（まほ）ろば 畳（たた）なづく 青垣（あをかき） 山籠（やまごも）れる 倭（やまと）麗（うるは）し」  
「まほろば」という言葉が使われた『古事記』の倭建命（やまとたけるのみこと）による歌です。その意味は「倭（大和）は国の中で最も良いところ 幾重にも重なり合う青い垣根のような山々 そんな山々に囲まれた倭（大和）は美しい」。

「まほろば」の語源になった「真秀（まほ）」には「物事が完壁である」という意味があり、転じて「住みやすい場所」、「素晴らしい場所」を意味する「まほろば」になりました。  
自然の命が生きている素材と、その生命力が生み出す気持ちのいい空気、そして磨き抜かれた職人技が結実した「空気がうまい家まほろばモデルハウス」は、その名にふさわしい住空間です。

「家づくり」は、お住まいになるご家族にとっての「まほろば」を生み出すこと。もちろん、効率の良さや利便さなども大切ですが、心と体に素直に感じられる気持ちの良さも忘れないでいただければと思います。  
みなさまの「まほろば」が見つかりますように。



眺めていてあきることがない美しい自然素材の表情が暮らしを豊かに彩ってくれそうなLDK。パターンの異なる格子デザインの建具も素敵です（写真上2点）。音響熟成木材「黒」の使い方と、意匠を凝らした収納扉のデザインなど、細部へのこだわりがポイントになって、空間全体の質を高めています（写真右）。木目の活かし方など、木の魅力を知りつくした職人さんの見事な仕事ぶりが結実した、居心地の良さが極まる和の空間（写真下）。



食器棚やキッチンも音響熟成木材のオーダーメイド品。受け継がれてきた職人技が自然素材を引き立て、現代の暮らしにフィットする機能性を生み出しています。

# 鳥の家と私たちの暮らし



庭木に隠れていた「見たいけれども、あまり見てはいけない」もの

## 今

年の春から夏にかけては、例年以上に鳥が身近な存在となりました。例年なら、外の木々から聞こえてくる鳥の鳴き声を楽しむだけですが、今年は、玄関先の木に、鳥が巣を作ったようです。

毎朝、玄関先に出ると、バタバタと飛び立っていく姿を見ることができました。

「鳥が玄関先の木に巣を作ったみたいだ。」こんな話を家族でしていると、当然、巣がどこにあるか見たくありません。

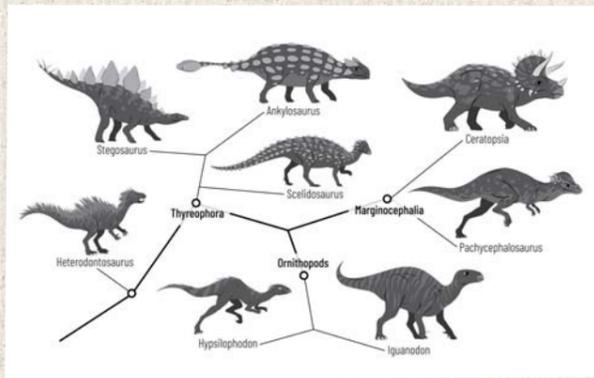
けれど、私たちが見れば見るほど、鳥は嫌がることも想像できます。

「見たいけれども、あまり見てはいけない。」こんなものが、庭先の木に隠れているという夏を過ごしました。

## 八月には空き家状態に

毎朝、玄関先で見かける「バタバタ・・・」を楽しんでいたのですが、ある日を境に「バタバタ」が聞こえなくなりました。

自然が何を考えているのかは、全く分かりませんが、こんなことを考えてみると、「自然は、とても慎重にアイデアを出し、検討している」と言えるような気がするのです。



進化は偶然では、必然とは？

## 自転車が日本にやってきたのは？

その一方で、私たち人間は、身体を進化させることは、簡単にできませんが、技術を大きく進歩させてきました。

自転車が見られるようになったのは、明治初期の頃と言われていますから、約百五十年前です。たった百五十年の間に、自転車からバイク・自動車・新幹線・飛行機・・・など、進化させてきました。僅か五世代くらいの間に、社会は驚くほど変化し、その速度は、今後もますます加速していきそうです。

施主様からの特別寄稿  
四季めぐる  
空気がうまい家  
文◎渋谷浩一郎様

京都府宇治市で空気がうまい家にお住まいの渋谷様ご家族。四季めぐるその暮らしを、施主様ならではのエッセイにしてお届けいたします。

最近生まれたと思われる、ヒナの声も聞こえなくなっていました。  
「最近、鳥の気配が感じられないけれど、どうしたか知ってる？」  
「えっ、蛇が食べたって知らなかったの？」  
あっさり、と、長男に言われてしまいました。

詳しく話を聞くと、最近、庭先の木の付近に蛇がいたようで、その蛇を目撃して以来、鳥の気配が綺麗に消えてしまったようです。

こうした話になると、ついつい「蛇が悪者、鳥やヒナが被害者」という見方をしていますが、蛇だって、人間がうろろする庭先の木に近寄るといふリスクを取らなくてはならない事情があったのでしょうか。  
こう思うことで、鳥の気配の消滅を受け入れることにしました。

## どうあれば、ヒナは襲われなかったのか

敢えて、鳥の様子は細かく見ない様にしていましたが、確かに「ピーピー」と鳴くヒナの声は聞こえていました。

きっと飛ぶこともできず、食べ物も親鳥から分けて貰わないと生きていけない様な、弱い存在だったと思います。

## 生き物としての進化と技術としての進化のバランスを考える

驚くほどのスピードで進化していった技術。この恩恵を私たちは存分に受けながら生活しています。そして、これからも、さらに便利なものを求めようとするでしょう。

ところが、その一方で、時には、「技術の恩恵をあまり受けずに過ごしたい」と思い、農作業・キャンプ・ハイキングなどを楽しみたいとも願う複雑さを誰もがもっています。

それは、「慎重に変化させていくべき暮らし方」が私たちの本能に組み込まれているからだだと思います。今後も、技術は信じられない程発展していくでしょうが、時々、ゆっくりと変化するものに触れて、ブレーキをかけることも大切だということを、ヒナは教えてくれた様に思うのです。

技術が進歩して、この原稿も切手を貼ってポストに投函する必要がなくなりました。その分、のんびりとした時間が手に入るはずなのですが、その時間はどこに行ってしまったのか謎です。

「時間は作るもの」なんて言われますが、本当は「心のもちようで時間が生まれる」のではないかと思います。そして、そのゆったりとした「心のもちよう」の源は、自然が育ててくれるのではないのでしょうか。



ゆっくりした変化の大切さを教えてくれてありがとう

See you next time!



◀こちらでも渋谷さんの自然にまつわるコラムがお読みいただけます [カイケン 自然発信基地]で検索



季節を味わう

おもやの

食卓

なんでもいつでも揃う  
いまこの時代に、  
あらためて「旬」のものを  
見直してみたいと思います。  
旬のものは、体にいいし、  
なんといいっても、  
みんなでおいしく  
いただけますから。

### とろっとろける実りの秋

インドが原産の茄子。熱帯地域では、多年草として一年中収穫される植物です。日本のような温帯地域では、初夏から秋にかけて収穫される一年草で、夏野菜として馴染みが深いですよね。

東洋医学では、体温を下げる効果があるとされており、夏に冷やしていただく焼き茄子などは、想像しただけでもひんやりと美味しい涼を感じると一品です。

妊婦さんの体を冷やしてはいけないので「秋茄子は嫁に食わずな」というフレーズはとて有名ですが、実は、「美味しすぎるから」という一説もありますよね。

焼いてもよし、揚げても炒めても蒸しても、はたまた茹でてでも美味しい茄子。栄養がとっても豊富と言えるほどではありませんが、紫色の皮部分に含まれているナスニンという色素はアントシアニンの一種で、抗酸化作用があります。

ナスニンは水溶性なので、長時間茹でると流れ出てしまいますから、茹でる場合はスープに入れてしまうような調理法の方が、栄養を余すことなくいただけそうです。

今回は、イタリア料理の黄金の組み合わせである、茄子、トマト、チーズ、バジルに、生ハムの塩けをプラスした絶品オーブン料理をご紹介します。

一見、手が込んだ大変な料理にも見えますが、材料は至ってシンプル。パスタやリゾットのサイドメニューや、パンを添えてお酒の席のおもてなし料理にもピッタリ。大人から子どもまで楽しめる一皿です。

とろっとろける、茄子とモッツアレラチーズの組み合わせをお楽しみください。

文と料理 はやみず ときこ

東京造形大学卒業後、デザイン会社勤務を経て2011年に鹿児島に移住後、2013年にフードスタイリストとして独立。雑誌、広告の仕事の傍ら、鹿児島市でchipe-saloon of foodies-と3つのアトリエを主宰し、料理教室などを開催している。

### 👉 Cooking example





イタリアン黄金のクワトロ（茄子・トマト・チーズ・バジル）に生ハムが加わって、お口の中で至福の秋がとろけます。

茄子も空気もポロノな秋

「ポロノ/Buono」はイタリア語で「美味しい」の意味。ちなみに、「めっちゃ美味しい」は「ポニッシモ/Buonissimo」さらに美味しくなると「オッティモ/Ottimo」となるようです。「食欲の秋」といわれる理由は、夏バテが解消するから、基礎代謝が上がるから、冬に備える必要があるから、食欲を抑える脳内物質が少なくなるから：など様々あるようですが、なんといっても実りの秋、いろんな食べ物が美味しくなる季節だからだと思います。天高く馬肥ゆる秋。美味しい秋のなすがまま。ですが食べ過ぎにはお気をつけて、よい秋を。



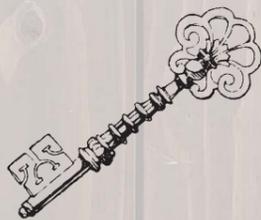
ナスのイタリア風オープン焼き  
レシピはウェブで紹介しています



<https://www.e-kaiken.com/omoya/>

SAIN  
ESSAY

シームレスに繋がる世界



浦上 日章  
Text by  
Urakami Nissho

SNSの急速な発展から、どこにいても気軽に情報の発信が可能になり、特にコロナ禍を経験してからはそのニーズに対応するため、社会へと完全にシフトしたといえるほど、一気に変革も進み、誰もが繋がれる世の中になりました。

そして注目しなければならないのが、各個人において仕事もプライベートもひとつなぎに表現、評価される時代になってきたということ。ビジネスとしてのオフィシャルな情報だけでなく、そこに携わる人物の人となりや垣間見えるプライベートな情報もワンセットで全体が評価され、発信する側はより幅広い視点でブランディングを考えていく必要性が重要になってきたと感じます。

仕事を発展させるためには、数多ある選択肢の中から、まずは自分達を認知してもらわなければならない。そうでなければ、そもそも

スタートラインに立つことさえできない。この当たり前のことが、恐ろしいほどのスピードで難易度を上げていると思えます。

また、これまでの時代と違い、各個人が発信基地となっているため、裏を返せば周りから「見られる」機会も増えたということになります。「見せる」のではなく「見られる」です。もちろん、初動のきっかけとしては「見せる」ことにより認知を広げたいという欲求を満たすことが一つの目的ではありますが、記録として蓄積されていくため、いつでも「見られる」ということも常に意識しておく必要があります。

オンオフ関係なく、普段の自身の行動や立ち回りが倫理観に欠けていたら、それは恐らくそのまま何かしらのダメージとして響いてくる。ネームバリューの有無に関係なく、世間の

ジャッジがシビアになってきた、そんな印象を受けます。

どんな仕事に携わっているのか、そしてリアルではどんな人物像なのか、その両側面がどれだけシンクロし、マッチしているのか、社会にその考えが定着してきている以上、人間味や人生観が、価値観の近い人々の心にとだけ響いて共感を生むかが鍵となり、もちろん計算で着飾るのではなく、素の自分がナチュラルに体現して初めて、心地よく受け止めてもらえるような気がいたします。

全てがシームレスに繋がる世界。自然体で自分らしくいることが、誰かの幸せな人生へとリンクしていく。そんな想像をしながら、ワクワクと楽しんで歩んでいけたらいいと思います。

# 無添加 というだけでは 健康住宅 と言えない？

**無**添加という言葉は聞いて皆様はどのよう  
に感じられますか？「添加物が入ってい  
ないので体に良く健康になれる」と感じら  
れる方がほとんどではないでしょうか。実  
際、添加物が多く使われているより、出来  
る限り入っていないほうが体に良いことは  
間違いないでしょう。しかし「無添加」と  
いう表示は、添加物が入っていても入らな  
ければ、無添加として商品が出せるという  
曖昧な定義のもとにあります。

では、全ての原料・成分が無添加であれば  
安全なのでしょうか？  
**また**、私たちが日々住まう家考えた  
きははどうでしょうか。やはりすべて無添加  
とは言えません。住宅の内部を可能な限り  
木や漆喰などの自然な材料で作ったとして  
も、お風呂、キッチン、トイレ、サッシ、  
換気扇、照明などの設備機器は化学建材に  
なるでしょうし、木の表面は何か塗ってい  
るのではないかと、また塗っている場合、そ  
の塗料は安全なのか、使用されている接着  
剤・防蟻剤は大丈夫なのか。さらに木  
の原産国はどこなのか？ 素材は天然その  
ままなのか？ 内壁の材料は？ などなどた  
くさんの疑問が生まれてくるでしょう。  
**また**、全くの自然のものであっても、木  
を糊で固めた集成材であっても、海外から  
入ってきて薬品づけになっていても、表面  
に何か塗ってあっても、防腐剤や糊が使用  
されている珪藻土も、自然素材がひとつで  
も入っていれば、その商品は全て自然素材  
という枠の中にくくられてしまいます。家  
においては「自然素材」≠「無添加」とい  
うイメージも強いです。どちらにし  
ても定義は曖昧なのです。

**そ**れでも出来る限り自然に近い無添加と  
いえる家を作りたい。安全で健康であ  
るといえるのでしょうか。花粉症やアト  
ピーなど、何かしらのアレルギーを持つ人  
口は3分の1以上ともいわれ、シックハウ  
ス症候群や化学物質過敏症も増えている現  
在は、食べ物や水、日用品だけでなく、家  
づくりにおいても家族や自分の体のために  
健康を考えている方が多くなっています。  
**ビ**ニールクロスが主流だった壁も、和紙  
や漆喰・珪藻土などの呼吸する素材が増  
え、合板使用の新材材から天然無垢材の床  
が増え、化学建材から発生するガスをなく  
そうと無添加で健康的な素材が選ばれるよ  
うになりました。しかし、本当の健康住宅  
かどうかの判断も難しいし、無添加なだけ  
では健康な家とは言えないのです。  
**生**活をしていく上で必要なもの、家具・  
家電・衣類などの生活必需品なくしては、  
ほとんどの方が不便と思われることでは  
しょう。では、家具・家電・衣類などの生活必  
需品から化学物質のガスが放散しているこ  
とはご存知でしょうか？ それら無添加  
の家に入れてしまうとどうなるか…。もう  
答えはお分かりですね！ そうです、無添  
加の家は放散されたガスを吸収してしま  
い、今までも同じ不健康な家になってしま  
うのです。

**私**たちが理想とする  
「きれいな空気」とは、  
自然の力が生み出す空気です。  
森の緑の中や海を見晴らす砂浜で、私たち  
は「空気が気持ちいいなあ」と感じます。  
それは、日頃はつい忘れてしまっている  
「人も自然の一部」ということを思い出す  
から、なのだろうと思います。  
**自**然の中で感じる「気持ちいい空気」  
を住空間でも感じる事ができたなら、い  
ちばん居心地のいい家になるのではないだ  
ろうか…。そんな思いから「家は、空気で  
建てる」という発想が芽吹き、自然の息吹  
が香る気持ちのいい空気の中で、ご家族の  
心と体に幸せが満ちていき、いつまでも心  
地よい日々をお過ごしいただける「空気が  
うまい家」が生まれました。

私たちは、いつまでも心地いい空気環  
境の住まいで、ご家族が心も体も健や  
かにお過ごしただけの暮らしを、  
ご提案していきたいと考えています。



## 幻の漆喰<sup>®</sup>



### 天然の空気清浄器

有明海の赤貝や銀杏草（海藻）などを使った完全天然素材の壁材。光と熱に反応する独自の光熱触媒作用を持ち、半永久的に室内の化学物質や有害物質を吸着・分解して住空間の空気を清浄に保ちます。ホコリも減ってお掃除もラクに。

## 幻の漆喰<sup>®</sup> ピュアケアウォール<sup>®</sup>

幻の漆喰を塗りやすくモダンに  
鉱物を原料とした天然素材を使用し、  
光熱触媒の技術で生成。原型となる  
幻の漆喰と同じく、化学物質の分解力  
に優れ、さらに今後の左官職人不足に  
も対応できるよう、塗りやすく仕上げ  
ています。



## 幻の漆喰<sup>®</sup> そとかべ

### 光熱触媒作用で 「経年美家」を実現

外壁専用の幻の漆喰「そとかべ」は、  
光熱触媒技術を利用して汚れやすい  
外壁材をクリーンに保ちます。耐水・  
耐熱・耐変色・耐緑色化および耐カビ  
試験により、強靭さや耐久性を証明。  
時と共に味わいを増す「経年美家」の  
住まいを実現します。



## 音響熟成<sup>®</sup>木材



### 免疫力をアップする木「財」

南九州産の杉を、クラシック音楽を聴かせながらじっくりと常温で音響熟成したこだわりの木材です。木が本来持っている油分やエキスが残り、防菌・防カビなどの作用に加え、人間の免疫力をアップする働きがあるとされています。

## 音響熟成<sup>®</sup>木材 うづくりの床

### 素足にやさしく心地いい床材

「うづくり」とは、木の年輪を浮き上が  
らせる加工法。自然な凹凸が足裏を  
心地良く刺激して血行を良くし、冷え  
症の方もご安心頂け、こどもたちの扁  
平足予防にも効果的です。また、凹凸  
が室内の光を拡散して目に優しく、眼  
精疲労を和らげます。



## 竹炭入り清活畳<sup>®</sup>

### さわやかで清々しい 健康的な空間に

6畳2間でドラム缶1本分の竹炭が入った「清活畳（せいかつだたみ）」。  
竹炭は化学物質を吸着する能力が備  
長炭よりも優れるとされています。い草  
の爽やかな香り・肌ざわりが、すがすが  
しい空間をつくれます。



### 最新情報はウェブサイトどうぞ

本当の健康住宅、健康自然建材を知りたい方、  
花粉症やアレルギー、シックハウスなどでお悩み  
の方、住むほどに愛着がわく自然素材の家づくり  
をお考えの方、ぜひご覧ください。

アクセスはこちらから  
<https://www.e-kaiken.com>



### 自然を楽しむ暮らしの知恵をみんなでシェア



### それぞれみなさまの暮らしをご紹介します



# SAiN 読者アンケート ぜひアンケートにお答えいただき、プレゼントご応募ください!

ご愛読いただきありがとうございます。これからも読者の皆様にますます喜んでいただける情報誌『SAiN』にしていくために、どうぞアンケートにご協力をお願いいたします。お名前・生年月日・性別・ご住所・TEL・職業・『SAiN』裏表紙に記載されている「正規取扱店名」をご記入の上、アンケートにお答えいただき、下記宛先までご応募ください。下のアンケート専用ハガキ・WEBでもご応募できます。

## Q1 『SAiN』を知ったきっかけは?

- ①セミナー ②見学会・展示会 ③DM ④友人・知人からの紹介 ⑤その他

## Q2 「健康住宅」のイメージは?

## Q3 いちばん印象に残った記事は? (番号をご記入ください)

- ①表紙 ②PI. はじめのSAiN ③P2. 目次 ④P3・4. [特集]木と人の暮らし ⑤P5・6・7・8. 全国体感録(福岡県 空気がうまい家 まほろばモデルハウス) ⑥P9・10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ ⑦P11・12・13. おもやの食卓 ⑧PI4. SAiNエッセイ ⑨PI5. 「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない? ⑩PI6. KAIKENブランド ⑪PI7. こだわりプレゼント ⑫PI7. 編集ほのぼの後記 ⑬裏表紙 ⑭その他( )

## Q4 役に立つと思われる記事はどれですか? (「Q3」の番号よりお選びください)

## Q5 今後取り上げてほしいテーマ

## Q6 『SAiN』へのご意見・ご感想

## Q7 ご希望のプレゼント番号とプレゼント名(第1・第2希望まで)

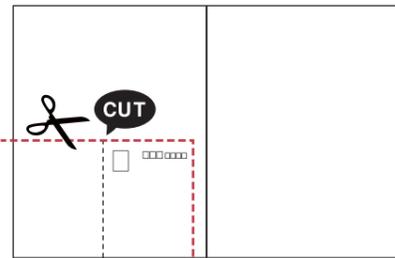
●ハガキ応募先 〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5  
カイケンコーポレーション(株)『SAiN』秋号vol.74 プレゼント係  
●WEB応募先アドレス \*スマートフォンは右のバーコードから  
[https://fkfb.f.msgs.jp/webapp/form/21221\\_fkfb\\_2/index.do](https://fkfb.f.msgs.jp/webapp/form/21221_fkfb_2/index.do)  
※ご当選者の皆様の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



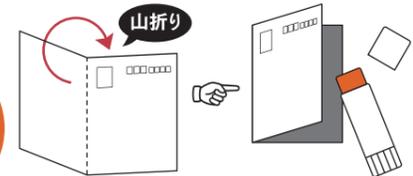
ご応募締切  
2022年  
11月20日  
当日消印有効

## アンケート専用ハガキの使い方

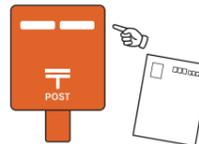
1 ハガキにご記入いただいた後、切り取り線に合わせて、ハガキを切り取ります。



2 切り取ったハガキを山折りにし、中面にのりをつけ、貼り合わせます。



3 記入漏れがないか確認いただき、郵便ポストへ投函ください。



## こだわりプレゼント

※ご応募締切 2022年11月20日(日)

1名様

1 音響熟成木材手づくりテーブルセット

2名様

2 音響熟成木材とコハルライトのコラボライト

3名様

3 オーガニックワイン リースリング ベーレンアウスレーゼ 白

6名様

4 ヴィーガンクッキー リーバリー クッキー詰め合わせ

音響熟成木材手づくり家具の中でも人気が高い、テーブルと椅子のセット。使い込むほど木肌がなめらかになり、美しいツヤも出て、時とともに愛着が増していきます。写真のデザインで、寸法調整につきましてはご対応させていただきます。  
※当選者決定後の製作となります

特製和紙シートを組み立てると、桜の花びらが立体的にうきあがる素敵なインテリア照明器具「コハルライト」。さくら色と電球色に切替でき、2つの違う雰囲気を楽しめます。このコハルライトと音響熟成木材の手づくりスタンドをセットにした特別コラボアイテムです。

特別な年にだけ作られる、オーグストリア・クレムスタールのデザートワイン。淡くゴールドを帯びて輝くイエローの色。華やかで甘い気品が漂う、熟してとろけそうな果実の香り。そして、幸福な余韻を長く残す、上品で繊細な甘口の味わいがお楽しみいただけます。

ヘルシーで体に負担をかけないお菓子が評判の福岡のヴィーガン・スイーツカフェ「リーバリー」。白砂糖、卵、乳製品などを使わず、メープルシロップやオーガニック食材などのピュアでクリーンな素材を使った、奥深い味わいのクッキー詰め合わせです。

ご当選者の皆様の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

キリトリ

(フリガナ)	生年月日	年	月	日
お名前	性別	( 男性 )	( 女性 )	
ご住所 〒				
お電話				
Eメール	メールマガジン配信 <input type="checkbox"/> 希望 <input type="checkbox"/> 希望しない			
ご職業	会社員・公務員・自営業・学生・主婦・その他			

『SAiN』を知ったきっかけは? (番号を○でお囲みください)  
① セミナー ② 見学会・展示会 ③ DM ④ 友人・知人からの紹介 ⑤ その他( )

「健康住宅」のイメージは?

いちばん印象に残った記事は? (番号を○でお囲みください)  
①表紙 ②PI. はじめのSAiN ③P2. 目次 ④P3・4. [特集]木と人の暮らし ⑤P5・6・7・8. 全国体感録(福岡県 空気がうまい家 まほろばモデルハウス) ⑥P9・10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ ⑦P11・12・13. おもやの食卓 ⑧PI4. SAiNエッセイ ⑨PI5. 「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない? ⑩PI6. KAIKENブランド ⑪PI7. こだわりプレゼント ⑫PI7. 編集ほのぼの後記 ⑬裏表紙 ⑭その他( )

役立つと思われる記事は? 上の質問の回答番号よりお選びください <

今後取り上げてほしいテーマ

『SAiN』へのご意見・ご感想

ご希望プレゼント番号と 第1希望  
プレゼント名をご記入ください 第2希望

※アンケートにご協力ありがとうございました。ご当選者様の発表は発送をもって代えさせていただきます。

料金受取人払郵便

城南局 承認

309

差出有効期間 令和4年4月1日から令和6年3月31日まで <切手不要>

郵便はがき

814-0190

福岡市早良区野芥2-27-5  
カイケンコーポレーション(株)

## 『SAiN』秋号vol.74 プレゼント係



ご愛読頂きましてありがとうございます。  
アンケートにご記入いただきましてご応募ください。

この『SAiN』の裏表紙に記載されている  
正規取扱店名を下記にご記入ください

※お預かりした個人情報は、カイケンコーポレーション(株)と正規取扱工務店からのイベントや見学会のご案内、本やプレゼント発送、アンケート集計以外には利用いたしません。尚、お客様の個人情報は厳重に管理し、第三者に譲渡することはありません。

## 編集ほのぼの後記

台風一過。つい先日大型の台風が通過していき、風が秋の季節の様相を呈してききました。この記事を書いているのが9月8日です。で、発刊される頃にはもっと涼しく、ひよっとしたら肌寒さを感じるようになってくるかもしれません。ここ福岡は秋の季節を体感できる期間がとても短く、毎年あつという間に冬の足音が近づいてくる感じですが、皆様も季節の変わり目、くれぐれもご自愛のほど宜しくお願い申し上げます。

## チロクロ日記

さつま工場から栗が届きました! とても立派で秋って感じがいいですね! チロクロにもお披露目。積極的なチロルは、いつもながらに好奇心旺盛です。猫たちにとっても肌寒い季節になってくるので、そろそろ二匹ピタリくっついて、ぬくぬくゴロゴロする日も多くなってくるかもしれません。それではまた、次回の冬号にて!



SAiN編集部浦上日章

「空気がうまい家」 ●お問い合わせはフリーダイヤルでお気軽に (9:00~17:00 ※土日祝/休)

KAIKEN CORPORATION 0120-874-814 ●本社/〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5 ●電話/092(874)6110 ●FAX/092(874)6113

カイケンコーポレーション株式会社 ●最新情報はWEBサイトでどうぞ <https://www.e-kaiken.com> カイケンコーポレーション



●「空気がうまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ビュアケアウォール」「清活量」はカイケンコーポレーション株式会社の登録商標です。●商標登録「空気がうまい家」登録第5700454号取得/「音響熟成木材」登録第4739348号取得/「幻の漆喰」登録第4739347号取得/「幻の漆喰ビュアケアウォール」登録第5672190号取得/「清活量」登録第4827042号取得 ●「空気がうまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ビュアケアウォール」「清活量」は正規取扱店でのみお取り扱いしています。類似品にご注意ください。お取扱工務店等はWEBサイトでお確かめいただけます。

# 時を超える価値のある暮らし

The Timeless Life

SAIN 2022 AUTUMN ISSUE vol.74 発行●カイケンコーポレーション株式会社 〒八二四〇一七二 福岡市早良区野芥二の二七の五 電話〇九二(八七四)六一一〇  
© KAIKEN Co. All Rights Reserved. 【季刊】年4回・3月6月9月12月発行 ※無断転載・複製を禁じます



Safety & Healthy  
空気がうまい家<sup>®</sup>

お問い合わせは●カイケンコーポレーション健康自然建材 正規取扱店